

京都郡学校保健会保健主事会・養護教諭部会合同研修会の報告

不登校の何が問題なのか ～不登校を難しくしているもの～

令和2年2月20日（木） 14時30分から福岡県京都郡みやこ町の「みやこ町総合文化センター・サン・グレートみやこ」研修室において京都郡学校保健会保健主事会・養護教諭部会合同研修会が行われました。参加者は約40名程で、管区の小中学校の保健主事や養護教諭先生などが参加されていました。今回は私、ぼちぼちの会会長木村が講師として「不登校の何が問題なのか～不登校を難しくしているもの～」をテーマに講演をさせていただきました。

養護教諭の先生の仕事は多岐にわたり特に保健室の運営については悩まれることも多いと思います。周囲から見ればややもすると「甘やかし」に感じられることでも、心身の問題のみならず悩み相談など子どもにとっては大変重要なことであり、カウンセラーの仕事からまるで保護者のようなことも含まれてくるでしょう。それを校内でいかに理解してもらいながら進めていくかは大変なことです。最近の不登校生の増加化はその中でも悩ましいことでしょう。子ども自身もなぜかわからないままそれを理解することはむづかしいものです。でも、不登校を難しくしているものは「学校に行かないことは悪いこと」という偏見であり、行くことが当然という考え方にあるのだと理解できれば見えてくるものも変わってくるはずです。視点を変えてみましょう。



学校と子どもの関係

学校に来ない子ども （学校や先生から見ると）

学校に行かない子ども （親や周囲の大人から見ると）

不登校生にとっては行けない学校 （不登校生の子どもから見ると）

講演の後お礼のメールをいただきましたので掲載させていただきます。

ぼちぼちの会 会長 木村 素也様

昨日は京都郡学校保健会保健主事会・養護教諭部会 合同研修会にて講演をしてくださり、ありがとうございました。

遠いみやこ町までお越しく下さり、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

不登校の何が問題なのか？

もやもやしたものがすっと落ちた気がしました。

不登校が部活に入っているかいないかくらいのもというのが、難しくしてしまった第一歩だなあと感じてしまいました。

不登校の不利益を少なくするために

自立するための別ルートを探すこと、

保護者の気持ち、本人の気持ちの通訳、

成長モデルに合わせる、

いろんな視点や目線に気づかせていただきました。

講演を聴いたみなさんの表情も明るくなっていて、私もうれしく思いました。

今感想をまとめていますので、少々お時間をいただき、質問等があればまたメールさせていただきます。

本当にありがとうございました。

これを機会に今後もよろしく願いいたします。